

渋谷混声合唱団 第28回定期演奏会

ミヒャエル・ハイドン  
Requiem in c  
MH 155

モーツァルト  
Vesperae solennes de Confessore  
KV 339

2023 7.1 [土]

東京オペラシティ コンサートホール  
タケミツ メモリアル

14:00 開演 (13:15 開場)

[チケット料金]

自由席一般 3,000 円 | 自由席学生 2,000 円  
指定席 4,000 円

[チケット申し込み]

東京オペラシティチケットセンター  
☎ 03-5353-9999

未就学児入場不可

指揮：水野 克彦

ソプラノ：高橋 節子

アルト：谷地 畝 晶子

テノール：大島 博

バス：浦野 智行

オーケストラ：Symphonia Fons Harmoniae

合唱：渋谷混声合唱団



芸術文化振興基金助成事業

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団助成事業



演奏会に関する最新情報は  
渋谷HPにてご確認ください

# 渋谷混声合唱団 第28回定期演奏会



**水野 克彦** Katsuhiko MIZUNO  
Conductor

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は東京藝術大学バツハカンタータクラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバツハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわった。しかし、十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ次第に傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなる。

現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。渋谷混声合唱団、東京アマデウス合唱団、東京クリスマス・オラトリオ・アカデミー、三菱UFJ銀行合唱団、明治学院大学グリークラブ等の常任指揮者。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。



**高橋 節子**  
Setsuko TAKAHASHI  
Soprano

札幌大谷短期大学音楽科卒業後、東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中に藝大定期ハイドン「天地創造」のソリストに選ばれる。藝大バツハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の薫陶を受ける。国際ロータリー財団奨学生としてドイツ・フライブルクに留学。第8回日本声楽コンクールに入賞と共に田中路子賞を受賞。ドイツ・ライプツィヒ聖トーマス教会でカンタータのソロを演奏するなど、これまでにJ.S.バツハ「マイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」他、多くの宗教曲ソリストを務める。R.シュトラウス「薔薇の騎士」、パーセル「デイドとエネアス」、モーツァルト「フィガロの結婚」などのオペラにも出演。現在は東京と札幌でリサイタルを開催、演奏活動、声楽指導を行なっている。藤田道子、戸田敏子、伊原直子、Eva-Maria Hazayの各氏に師事。二期会会員。



**谷地 晶子**  
Shoko YACHIUNE  
Alto

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。ヨハネス・ブラームスの歌曲研究において博士(音楽)学位取得。第16回日仏声楽コンクール第1位。2012年度三菱地所賞受賞。これまでに、JS バツハ「クリスマスオラトリオ」、「口短調ミサ」、「マイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルジャーク、デュルフレ「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第9番」、「ミサ・ソレニムス」、メンデルスゾーン「パウロ」「エリヤ」、ドヴォルジャーク「スターバト・マーテル」、マーラー「交響曲第2番」、「交響曲第3番」、「交響曲第8番」等においてアルトソリストで出演している。現在、岩手大学、盛岡大学短期大学、盛岡看護医療大学校非常勤講師。



**大島 博**  
Hiroshi OSHIMA  
Tenor

熊本県生まれ。中央大学法学部卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学。同大学院在学中の86年、ミュンヘン音大に留学、エルスト・ヘフリガーに学ぶ。90-91年D.フィッシャー＝ディースカウに師事。95年東京藝術大学大学院博士課程を修了。宗教曲の分野で、初期バロックから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、とりわけバツハの受難曲における福音史家の演奏には定評がある。また、ドイツ・リート及び日本歌曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、96年からドイツ・リートのたのしみと題した、ドイツ歌曲を知るためのレクチャーを継続中。2004年からはシューベルトの《冬の旅》演奏会を毎年開催している。さらに合唱指揮者、発声指導者としても幅広く活動している。近年は、ドイツ詩の翻訳も手がけ、楽譜の校訂・編集にも携わっており、原文訳詞を担当した《R.シュトラウス歌曲全集1》、校訂を手掛けたシューベルト《冬の旅》などが全音楽譜出版社より刊行されている。立教大学大学院キリスト教学研究科兼任講師。



**浦野 智行**  
Chiyuki URANO  
Baritone

東京藝術大学別科修了(ホルン専修)。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。東京藝術大学大学院オペラ科修了。日本音楽コンクール、日本声楽コンクール、奏楽堂日本歌曲コンクール、日本モーツァルト音楽コンクール等に入賞・入選。主にオラトリオ、歌曲の分野で活躍し、特に受難曲でのイエス役や、ロシア歌曲では高い評価を受けている。これまでにモンテヴェルディ、シュツ、バツハ、ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェン、フォーレ、デュルフレ、メンデルスゾーン、ベルト等の宗教曲のソリストを務めている。バツハ・コレギウム・ジャパンのソリスト・合唱メンバーとして多くの国内外の演奏会やCD録音に参加。CD「トルストイのワルツ〜ロシア文豪の音楽〜」(キング・レコード)に歌曲で参加、好評を得る。

## 渋谷混声合唱団

SHIBUYA MIXED CHORUS

渋谷混声合唱団は1985年4月に「渋谷区民音楽のつどい〜第九を歌う会〜」の有志により創設された市民合唱団です。2000年1月に指揮及び指導者として水野克彦先生を、伴奏ピアニストとして船澤めぐみ先生をお迎えしました。両先生の熱意あるご指導のもと、混声合唱の技能を磨いて水準の高い音楽性を求めようと毎週土曜日午後渋谷区内の会場で練習を重ね今日に至っています。毎年、東京オペラシティコンサートホールタケミツメモリアルを舞台に、モーツァルト、バツハ、ヘンデル、ハイドン、ブラームス等の宗教曲を歌い継いできました。渋谷区から文化芸術団体としての評価をいただき、渋谷区文化総合センター大和田：さくらホールの開館記念でベートーヴェンの「交響曲第九番」を演奏いたしました。音楽を、歌を愛する人々が老若男女を問わず集う合唱団です。



## シンフォニア・フォンス・アルモニエ

SYMPHONIA FONNS HARMONIAE

### Orchestra

2000年に惜しまれつつ世を去った声楽家 齋藤明生氏が、生前自ら指導する合唱団のために、親友であり音楽上の良き理解者でもあった海保泉・あけみ夫妻に結成を依頼し、1990年頃より活動を開始した。以後、楽団の名称や団員は演奏会の都度若干の変動があったが、齋藤氏と海保夫妻の要求する音楽性は常に一貫して維持されてきた。齋藤氏没後、現指揮者 水野克彦氏がその遺志を継いで活動を続けるにあたり、新たな楽団名を Symphonia Fons Harmoniae (シンフォニア・フォンス・アルモニエ) とした。これは「楽団調和の泉」という意味であり、海保泉氏の名にちなんでいる。

## 合唱団員募集!

- 練習会場： 渋谷区内
- 練習時間： 毎週土曜日 14:00~17:00  
その他強化練習等あり
- 合唱指導： 水野克彦
- ピアニスト： 船澤めぐみ
- 連絡先： ☒ info@shibukon.com
- ホームページ： <http://shibukon.com>
- 一度見学にいらしてください。

### 【交通のご案内】

- 京王新線「初台」東口下車徒歩5分(都営新宿線相互乗り入れ 京王新線にて新宿から2分)
- 渋谷駅西口バスターミナルより約20分  
京王バス洪61(初台駅行)洪63(中野駅行)→東京オペラシティ南下車  
京王バス洪64(中野駅行)→東京オペラシティ下車  
京王・都営バス洪66(阿佐ヶ谷駅行)→東京オペラシティ南下車
- 山手通り・甲州街道交差点首都高速4号線入り「初台」出口  
下り「新宿」出口 首都高中央環状線内回り「中野長者橋」出口  
外回り「初台南」出口  
※詳しくは<http://www.tokyooperacity.co.jp/access/>をご覧ください

